

コード	401030705
記入日	H26.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱崎 義高

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	水産業施設（浮棧橋）撤去・解体事業
----------	-------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ～ 平成 30 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	4
事務事業コード	4010307	事務事業名称	単独事業費（水産基盤）	細目コード	1052
関連計画		法令・条例規則等	漁港漁場整備法		

計画（PLAN）

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 浮棧橋	(対象指標1) 6基					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・地域の水産業活動拠点施設として長年利用されてきた浮棧橋が施設の老朽化が進み機能の保全が難しく利用の安全確保ができない浮棧橋の撤去を行う。 →撤去箇所 若松港浮棧橋 土井ノ浦漁港 大平漁港 西神ノ浦漁港 宿ノ浦漁港 桐古里漁港	(平成25年度) ・若松港浮棧橋撤去・解体	撤去・解体	1基	16.6%	実施撤去基数÷ 計画撤去総基数	平成30年度
		撤去・解体	1基	100%		平成25年度
		① (達成率分析)	計画どおり1基を撤去した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
・施設機能保全不可能な浮棧橋の撤去・解体を行い、漁港内の安全及び利用者の安全確保、事故防止に努める。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		浮棧橋	1基	16.6%	撤去基数/年度計画基数	平成25年度
		① (達成率分析)	老朽化した浮棧橋を撤去することにより、漁業者及び利用者の安全性の確保が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施（DO）

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 基	6	1		1	1	0	1	1	1	2
	②										
成果指標	①										
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	34,200	5,530		5,700	5,530		5,700	5,700	5,700	11,400
直接事業費 A	千円	30,000	4,830		5,000	4,830		5,000	5,000	5,000	10,000
人件費 B	千円	4,200	700		700	700		700	700	700	1,400
内 従事職員数	人	0.6	0.1		0.1	0.1		0.1	0.1	0.1	0.2
人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	34,200	5,530		5,700	5,530		5,700	5,700	5,700	11,400

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	施設機能保全不備による事故防止のため事業を継続する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	県事業との関係で、撤去後、県事業で浮桟橋に代わる浮体式係船岸が設置された。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	し悦機能保全不可能な浮桟橋を撤去・解体による漁港内の安全、利用者の安全確保・事故防止に努めることから成果を向上させる余地はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	危険性を排除できる。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	設計積算については精査したものとなっている。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	漁港内の安全及び利用者の安全確保、事故防止のため、水産関係団体等と協議しながら事業を実施し、また経費の削減にも努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。